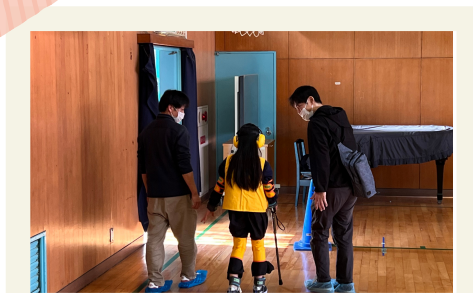


ふくし教育 プログラム



2024
START

社会福祉法人
交野市社会福祉協議会



NO, 1	アイマスク体験（小学4年生以上） 		
ねらい	アイマスクを使用した誘導体験を通し、視覚障がい者への理解を深める		
内容	アイマスクを装着し、視覚障がい者とガイドをそれぞれ体験することで、ガイド方法を学ぶ（体育館などでの歩行・教室での折り紙を折る体験など）		
参加人数	クラス単位～学年単位	目安の時間	45分程度（1クラス）

NO, 2	点字体験（小学4年生以上） 		
ねらい	コミュニケーションツールとしての点字体験を通し、視覚障がい者への理解を深める		
内容	点字の成り立ち・概要、読み方、書き方の説明、実際に点字を書いてみる（五十音や自分の名前など）		
参加人数	クラス単位～学年単位	目安の時間	45分程度（質疑応答含む）

NO, 3	車いす体験（中学生以上） 		
ねらい	車いす利用者にとって使いやすい環境、使いにくい環境などを把握し、現状を知ることによって車いす利用者への関わり方を学ぶ		
内容	車いすの基本的な操作方法や、段差などのバリアを体験する		
参加人数	クラス単位～学年単位	目安の時間	50分程度（1クラス）

NO, 4	ユニバーサルデザイン・福祉マーク（小学4年生以上） 		
ねらい	誰もが利用しやすいユニバーサルデザインや福祉マークに触れ、みんなが安心して暮らせる「場所」「もの」「ところ」について理解を深め、思いやりの心を育む。		
内容	・ユニバーサルデザインの説明と身近なユニバーサルデザインを実際に見て触れる ・福祉マークの種類や意味をクイズ形式で出題、こういったところでマークをみつけるか		
参加人数	クラス単位～学年単位	目安の時間	45分程度（1クラス）

NO, 5 点字ブロックについて知ろう（小学4年生以上）  			
ねらい	点字ブロックの意味や役割を知り、視覚障がい者への理解を深める		
内容	・点字ブロックの意味や役割を知る ・実際に点字ブロックを歩いてみる ・白杖について ・視覚障がい者への方向の説明方法について		
参加人数	クラス単位～学年単位	目安の時間	45分程度（1クラス）

NO, 6 赤い羽根教室（共同募金について）（小学1年生から中学3年生） 			
ねらい	身近な地域の福祉活動を応援する共同募金の仕組みを知る		
内容	赤い羽根共同募金がどのように役立てられているのかを調べることで、地域の福祉について学ぶ(赤い羽根のルーツ、使い道、募金の集め方など)		
参加人数	クラス単位～学年単位	目安の時間	30分～

NO, 7 高齢者疑似体験（小学4年生以上） 			
ねらい	器具をつけ、一時的に高齢者を体験することで、年をとると身体機能がどのように変化するのかを考える		
内容	器具を装着し、普段生活している（学校・会館等）で歩いたり、階段の昇降等		
参加人数	クラス単位	目安の時間	45分程度

NO, 8 ゆうゆうセンターたんけんツアー（小学1年生以上） 			
ねらい	館内の見学を通じ、ゆうゆうセンターがどのような施設であるかをしってもらう。福祉センターとの関わりを通じて、世代間交流や多様性、ノーマライゼーションの意識醸成を目指す。		
内容	館内見学や、福祉用具の見学・体験、ミニ講義（10分程度）など		
参加人数	クラス単位	目安の時間	60分程度

NO. 9 みつけてみよう まちの中のふくし（小学4年生以上）

ねらい	まちの中で福祉（工夫されているもの・福祉マークなど）を見つけ、誰もが暮らしやすいまちづくりの工夫が、身近にあることへの理解とその意味について学ぶ		
内容	校区内で工夫されているものをいくつか例にあげ（写真）、実際に校区内に出て、探してみる。どこにどんな工夫や、福祉マークがあったかなどを発表する。		
参加人数	クラス単位	目安の時間	90分程度

「ふくし教育」は必ずこれ！といったものではありません。
 子どもたちや地域の人々が何を学びたいのか、何を学んでほしいのかなど目的に応じて、様々なプログラムを一緒に考えていきましょう。
 また、プログラムを複数取り入れることで、より学びが深まります。
 対象年齢・目的に応じたプログラム内容をご提案しますので、お気軽にご相談ください。



社会福祉法人 交野市社会福祉協議会

〒576-0034

交野市天野が原町5-5-1
 (ゆうゆうセンター3階)

TEL:072-895-1185

FAX:072-893-6423

